

別記様式第 1

消 火 器 具 点 検 票

防火管理者を選任していない場合は記入なし

名 称	〇〇飯店					防 火 管 理 者	平塚 太郎			
所 在	平塚市〇〇町〇〇—〇					立 会 者	平塚 太郎			
点検種別	機 器 点 検	点検年月日	〇〇年〇月〇日～ 年 月 日							
点 検 者	氏名	点 検 者 所 属 会 社	社名	TEL 〇〇〇〇—〇〇—〇〇〇〇						
	平塚 太郎		住所	平塚市〇〇町〇〇—〇						
点 検 項 目		点 検 結 果					措 置 内 容			
		消 火 器 の 種 別								判 定
		A	B	C	D	E	F			
機 器 点 検										
設 置 状 況	設 置 場 所	1						1	通行障害	位置変更
	設 置 間 隔	1						1	歩行距離オーバー	位置変更
耐 震 措 置	適 応 性	○						○		
	耐 震 措 置									
表 示 ・ 標 識		○						○		
消 火 器 の 外 形	本 体 容 器	○						○		
	安 全 栓 の 封	○						○		
	安 全 栓	○						○		
	使用済みの表示装置	○						○		
	押し金具・レバー等	○						○		
	キ ャ ッ プ	○						○		
	ホ ー ス	○						○		
	ノズル・ホーン・ノズル栓	○						○		
	指 示 圧 力 計	○						○		
	圧 力 調 整 器									
	安 全 弁									
	保 持 装 置									
	車 輪 (車 載 式)									
ガ ス 導 入 管 (車 載 式)										

粉末消火器の点検はA列に記入する。

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 消火器の種別欄は、該当するものについて記入すること。Aは粉末消火器、Bは泡消火器、Cは強化液消火器、Dは二酸化炭素消火器、Eはハロゲン化物消火器、Fは水消火器をいう。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第 1

消火器具 (その 2)

消火器の内部等機能	本・体内容器等	本体容器										
		内筒等										
		液面表示										
	消薬火剤	性状										
		消火薬剤量										
	加圧用ガス容器											
	カッター・押し金具											
	ホース											
	開閉式ノズル・切替式ノズル											
	指示圧力計											
	使用済みの表示装置											
	圧力調整器											
	安全弁・減圧孔 (排圧栓を含む。)											
	粉上り防止用封板											
	パッキン											
	サイホン管・ガス導入管											
ろ過網												
放射能力												
消火器の耐圧性能												
簡易用消具	外形	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	水量等	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
備考	設置位置を変更した。											
	不良内容の詳細等を記載											
測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名				
器種名	設置数	点検数	合格数	要修理数	廃棄数							
粉末(蓄圧式)	1	1	1	0	0							

製造年から5年(加圧式消火器は3年)を経過していない場合は、内部点検は不要

不良内容の詳細等を記載

点検を行った消火器の本数を記入する。

買い替えを行った場合は、廃棄数を計上する。上記の備考欄に詳細を記載

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 消火器の種別欄は、該当するものについて記入すること。Aは粉末消火器、Bは泡消火器、Cは強化液消火器、Dは二酸化炭素消火器、Eはハロゲン化物消火器、Fは水消火器をいう。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。